

# 真誠

あけましておめでとうございます

校長 小林 宏

本年も、よろしくお願いいたします。

本日、冬季休業日を終え、三学期を迎えた子供たちと、新年がスタートしました。

さて、昨年は、日本漢字能力検定協会による毎年の世相を漢字一字で表す「今年の漢字」が、『金』に決まりました。また、「現代用語の基礎知識」選の「新語・流行語大賞」において、年間大賞に『リアル二刀流／シヨータム』が選ばれました。このことは、東京オリンピック・パラリンピックで日本人選手が多数の「金」メダルを取ったことや、野球の大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得したこと、将棋の藤井聡太さんの最年少四冠達成など、各界で「金」字塔を打ち立てたことなどを挙げていました。

日本を含め世界中が新型コロナウイルス感染症流行の影響を受けた一昨年から、それぞれ『密』、『3密』だったことと比べると、新型コロナウイルスの感染状況が次第に落ち着き、日常生活がもどりのつつある中で、明るく希望をもちながら日々を送っていたことが伺えそうです。

学校だより  
No.9

西東京市立  
田無小学校

令和4年  
1月11日

また、昨年の十二月に発表されたベネッセコーポレーションが実施した「小学生（小学三生年から六年生）が選ぶ今年の漢字」のトップ3は、『楽』『笑』『幸』でした。トップ3には、すべてポジティブな漢字が並びました。選んだ理由は、どの漢字も「友達」とのエピソードが多く、「今年は…」という表現が多く見られたそうです。こちらにも、新型コロナウイルスの影響で学校生活や遊びに制限があった一昨年と比較して、「今年は…」と気持ちを新たに楽しく日々を過ごしていた様子が伺えそうです。

新年を迎えても、コロナ禍の生活様式の継続が求められる中ではありますが、今年は、さらに明るく前向きな言葉がたくさん溢れるようにと願っています。子供たちの活動の様子は、今学期も学校ホームページ「ひまわり日記」や「フォト日記（ひまわりの子）」でお伝えします。たなしの子」をご覧ください。ぜひご覧ください。保護者・地域の皆様方におかれましては、本年も温かいご理解とご協力をいただきますよう、お願いいたします。



## ★わかば学級四組の担任について★

担任の牛山優花教諭は、体調不良により、今年度未までお休みをいただくことになりました。十二月十六日からは、鈴木和琳教諭が担任として着任しています。これまでと同様、ご理解・ご協力をお願いします。

## ★四年一組の担任について★

担任の小室秀幸教諭は、育児により、二月一日から今年度未までお休みをいただくことになりました。二月一日からは、現在、理科専科を担当している保延恒教諭が担任となります。これまでと同様、ご理解・ご協力をお願いします。

## ■ご協力に感謝いたします■

一学期の学校公開等では、マスクの着用や自転車等での来校禁止について、ご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。一月下旬には、展覧会を予定していますので、引き続き、ご協力をお願いします。

## 一月の主な行事予定

31	28	27	26	25	24	22	21	20	19	18	14	13	12	11
月	金	木	水	火	月	土	金	木	水	火	金	木	水	火
短なわキャン ペーン始	クラブ活動・ クラブ見学(3)	水曜時程・ 五時間授業	午前授業(1~5) 会場片付け(6)	児童鑑賞日 展覧会終	児童鑑賞日	午前授業 児童鑑賞日 保護者鑑賞日(午後)	土曜授業 土曜時程(火曜時間割) 保護者鑑賞日(終日)	水曜時程・ 五時間授業	水曜時程・ 五時間授業	水曜時程・ 五時間授業	水曜時程・ 五時間授業	午前授業(1~5・ わ)	安全指導 給食始 委員会活動	始業式 午前授業

※今月のスクールカウンセラー来校日は14日、17日、21日、28日です。相談のある方は、来校日に直接又は、担任を通して申し込むか、来校日のAM9:00~9:20に463-5902(相談室直通)または学校に連絡してください。

## わかば学習発表会

わかば学級 呉 俊太

今年度、わかば学級では和太鼓に挑戦しました。演目名は「三宅太鼓」です。密を避け、何度も練習を積み重ねながら、学級全員での練習を始めて、少しずつ仕上げていきました。わかば学級全員で挑戦した和太鼓、異学年での活動をほとんど取り組むことができなかった子供たちにとって、学年を超えて互いを知り合い、少しずつ交流へとつながる機会になりました。

保護者の皆様には保護者会を通して、子供たちの活躍を観ていただきました。「とてもよかった」や「太鼓を真剣に叩く姿がかっこよかった。」など、感想をいただき、嬉しかったです。ありがとうございます。日々の応援を力に頑張ることができました。改めて感謝を申し上げます。

子供たち一人一人が、様々な体験を通してじつくりと学ぶことができるわかば学級、学習活動が制限される中でもそのよさを活かし、子供たちが主体的に取り組み、楽しめる活動となりました。

## 図工室から～展覧会に向けて～

図工専科 川上 雪代

図工室では、様々な工具を使った「木工作」、彫刻刀を使った「版画」、陶芸粘土を使った「やきもの」の授業等、教室では経験できない様々な活動を通して、子供たちの造形的な資質・能力の育成を図っています。

図工の時間では、表現活動を通して、造形的・創造的な視点から児童の「考える力」を育成する授業づくりを意識して活動を展開するようにしています。

造形表現には正解がありません。完成した作品の仕上がりのみではなく、活動の中で何を感じ、考え、発想を広げ深めながら、どのように表現したのかを重視して学習を進めています。今月二十一日より始まる展覧会でも、一人一人の個性豊かな作品に出会えることと思います。それぞれの子供の表現のよさに気付いていただけたら幸いです。

鑑賞に際しましては、参観人数の制限や鑑賞時間の指定等、ご協力をお願いします。することも多々あり恐縮ですが、ご来校をお待ちしております。

## 働くことを楽しみに

六年主任 蘭牟田 雄一

六年生は、十二月十日に移動教室代替行事として、「キッズニア東京」に行きました。様々な職業の中から自分が体験したいものを選んで働き、その対価としてキッズというお給料をもらいます。そのキッズを使って、買い物やサービスを受けることができる仕組みです。キャビンアテンダントとして、飛行機内のアナウンスに挑戦する児童、時計台の広場でダンスを踊る児童、消防署員として消火活動をする児童など、働き方は様々でした。どの仕事をしている児童も、笑顔で真剣に働く姿が印象的でした。あくまで、疑似的な職業体験ではありますが、学校ではなかなかできない経験に、児童も満足していました。働くことの楽しさを少しでも感じることができたのなら、人生はとても前向きなものになるのではないのでしょうか。キッズニアでの体験を活かして、これからの学びを深めていけるよう支援していきます。

## 音楽科におけるICTの活用

音楽専科 北根 克子

日頃の音楽の道具の準備、またオンライン期間中の課題など、ご家庭からたくさんのご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年度一人一台のタブレットが導入され、音楽科では活動の幅が広がりました。画面上に描いた線が音楽になる「Kandinsky」、一音一音打ち込みによって作曲やアレンジを行う「Song Maker」を使い音楽づくりに取り組みました。自分のイメージしたことがタブレットを通して音楽になった瞬間の子供たちの表情はキラキラ輝き、アイデア溢れる音楽がたくさんでき上がりました。

また、鑑賞や器楽の領域でもタブレットを効果的に活用しています。音源やデモ演奏動画を配信することによって自分で何回も曲を聴くこと、楽譜とタブレットを観ながら個人練習を充実させることが可能になりました。

まだまだ感染症の影響を大きく受けている音楽科ですが、新しい生活様式のもと、田無小学校の音楽活動を充実させていきたいと考えています。